

## 令和5年12月7日 学校評価 公開後 保育従事者・法人役員 アンケート 集計結果

3段階評価回答結果 良い100%、普通0%、改善を要する0%

### 園項目：1

#### 教育方針を踏まえた活動が設定されているか

- ・ 子どもの個性を受け止めながらどのようにすれば楽しめるかをしっかりと考えられた活動だったと思います。
- ・ 教育・保育方針に基づき、人間観（あるがままの子どもの姿）を大切にされており、お子さんが生活しやすい環境を心がけている。
- ・ 遊びを学びとして子ども達の姿を受けとめていらして、子ども達一人ひとりとても伸び伸びと過ごしていたように感じます。
- ・ 遊びの中から経験し育つものを大切にしながら、あるがままの一人ひとりの姿を大切にしている教育方針だと思います。
- ・ 一人ひとりの個性を受け入れ、子どもが快適で安心できる保育でした。
- ・ 幼稚園の教育・保育方針である仏教的人間観を大切にしながら、子ども達が幼稚園で生活しやすい環境を作り、子どもと保育者の温かな関わりを大切にされた保育がされていました。
- ・ 先生達が明るい雰囲気で最高のお手本の元、子ども達も明るくのびのびとした姿から、よい関係が築けている。
- ・ 年齢に合わせた活動内容、季節や発達に合わせた製作方法を取り入れている様子が見られる。また、遊びの中から学んでいく環境が用意されていることで自発的に過ごすことができていた。

### 園項目：2

#### 幼児に適した環境が整備されているか

- ・ 子どもの目線の高さに興味を持てるものや季節を感じる物が置かれていたり、日頃使うセロハンテープやのりなどが使いやすいように棚に整理して置かれていました。
- ・ 子どもの目線に様々な遊びのヒントがあり、季節感にあふれている。
- ・ 製作コーナーの充実や、戸外遊び用玩具など子ども達を取り出しやすい環境にありやってみたいが自分でできる環境だと思いました。
- ・ 子ども自ら考え試したり、作ったり表現したりできる人的、物的環境だと思います。
- ・ 子ども中心とした言葉掛けで、全体的に穏やかで温かい環境でした。
- ・ いろいろな運動機能の発達を育める運動遊具が園庭にありました。また、園庭に芝生もあり子ども達が伸び伸びと遊べる空間がありました。園舎内も明るくゆったりとしており、季節の製作物が飾られたり、ホールでは巧技台を出して遊べるなど恵まれた環境でした。
- ・ 園庭遊具についた夜露を拭きとるなど、遊べる環境を整えていた。
- ・ 年齢毎に遊びやすい、過ごしやすい環境が整えられている。今ある環境を取り入れながら、環境を更に改善していこうという職員の工夫も見られる。物的環境だけでなく、人的環境も丁寧な関わりから充実していると思う。

### **園項目：3 園舎や園庭の安全点検や教職員・幼児の安全対応能力を図るための取り組みが行われているか**

- ・ 巧技台一つ一つの材質や形を理解した上で、活動をする際に上履きを履くべきか裸足で行うべきかを事前に検討し、安全面に配慮されていました。
- ・ 遊具や玩具の点検や消毒をされているので安心して遊ぶことができている。
- ・ 玩具の配置や、伸び伸びと遊べる環境の整備がされていてとても参考になりました。
- ・ 転倒防止や段差解消など、安全面に配慮された細やかな整備がなされていると思います。
- ・ ブランコ内の仕切りにプランターを使っていました。安全対策と共に見た目も考えていると思いました。
- ・ 園庭では危険がないように遊具の安全対策がなされており、固定遊具で遊ぶ時は保育者が側につきたり、見守る姿勢がありました。子ども達にも安全に遊ぶように指導がされ、上手に遊具を使って伸び伸びと遊んでいました。
- ・ 安全を把握しながら、遊びを一緒に楽しんでいた。
- ・ 園庭の玩具の掃除やバスの安全点検など、丁寧に細かく行われている。子ども達が自分で考えて使えるような工夫も行われていて、子どもが主体的に考えることができる環境も整っている。

### **年長**

#### **項目：1**

### **幼稚園教育として本日の活動が適切に実施できているか**

- ・ 運動能力の発達を促すと同時に仲間を応援し仲間と一つ事（シールアート）を成し遂げ達成感味わえる活動でした。一人ひとりの発達段階を理解した上で、巧技台を使った運動遊びを設定されていたと思います。
- ・ 先生のピアノや歌声がきれいで、子どもたちが毎日楽しそうに歌っている。また、日頃のあそびが学びに繋がっている。
- ・ 主活動で運動遊びを取り入れ、そこからグループの友達と一緒にシールアートを完成させるところまで発展するところなど、ひとつの目的だけでなく楽しめる設定にされていて年長児らしく、活動の取り入れ方の勉強になりました。
- ・ 保育士の言葉掛けが良かったです。子どもが考えて答えを出せるような言葉掛けが勉強になりました。
- ・ 巧技台を使って、歩く、登る、滑る、渡る、跳び越える、バランスをとるなどの様々な動きを行い、子どもの運動機能の発達を育む活動をしていました。またその中で、子どもの意欲を大切にしたり、他児を応援するなどして社会性を育てていました。
- ・ 遊びを積み重ねて運動遊びを経験し、様々な動きを取り入れていた。運動遊びだけでなく、色や数字など教育面での学びも遊びに取り入れていた。
- ・ 運動遊びだけでなく、達成感や一体感を感じることができるシールアートを取り入れていくことで体を動かすこと、友達と協力すること、意欲的に取り組むことなど全てに繋がりのある活動だった。

## 年長

### 項目：2

#### 幼児との信頼関係が図られているか

- ・ 子どもが困った事があるとすぐに担任の先生の所へ行き話をしている姿が見られました。先生は子どもの目線になって話をよく聞き対応されていました。
- ・ どのお子さんも先生に対して親しみの気持ちを込めて話しかけている。
- ・ 環境が設定されている中でも落ち着いて担任の話を聞く姿や、この後の活動を楽しみにする姿を見て日頃から温かな関わりをされているのだと感じました。
- ・ 子どもが他のことをしていても保育者の声を聞くとすぐに耳を傾け、担任の顔を見ていました。日頃のコミュニケーションを感じました。
- ・ 保育者の子どもへの言葉掛けや関わりがとても優しく、とても心地良いものでした。子どものありのままの姿を受け止めて、その子どもの姿に合わせて見守ったり、適切な援助をして関わっているため、皆が穏やかに生活していました。
- ・ 運動遊びの中、子どもの頑張る姿を丁寧に一つひとつ認めていた。
- ・ 子どもとの対話をする表情や目線、言葉の抑揚などが丁寧に子ども達もよく話を聞いていた。日頃からの信頼関係や丁寧な対応の積み重ねだと感じる。子ども達の様々な思いをしっかりと受け止めてくれると安心できる環境の中で過ごせていると感じた。

## 年長

### 項目：3

#### 幼児が活動に意欲をもって取り組んでいるか

- ・ 繰り返し楽しんできた巧技台の運動遊びでも、シールアートと組み合わせたりサーキットのコースをみんなで考えたりと、工夫されていたのが良かったと思います。先生による活動の説明を子ども達がとても興味を持って聞いていました。
- ・ 遊びのなかでお子さんが意欲的に楽しめるように、一つの遊びに幅広い選択肢のある活動を取り入れている。
- ・ 運動遊びが苦手な子どももサーキットを終えた後のシールアートを楽しみに頑張ったり、一人ひとりが無理なく楽しめていたように思います。
- ・ 保育者が笑顔で気さくに対応していて、参加している方も遊びの中に入りやすそうでした。
- ・ 子どもがやってみたいと思えるような言葉掛けでした。やってみることで「できた」と達成感を感じられると思いました。達成感をうまく表現できない子どもに対して、保育者が代弁して気持ちを汲み取っており、子どもの意欲が次へ繋げられると思いました。
- ・ 巧技台を使っただけの活動は子どもの意欲や挑戦する気持ちが大切ですが、一人ひとりの子どもが楽しんで活動をしていました。活動をした後にシールを貼ってシールアートを作るなど、遊びの中での工夫が良かったです。
- ・ 運動遊びのコースに変化をつけたり、ゴールをしたらシールアートをして楽しむなど遊びが工夫され、活動への関心、意欲を引き出していた。
- ・ 何をするのか期待を持ちながら話を聞いたり、挑戦してみようと意欲的に取り組んだり一人ひとりが自発的に活動に参加していたと思う。その中でも達成感や喜びに丁寧に共感してもらうことでより意欲が湧く活動だった。

## 子育て支援

### 地域や保護者の実情や要望による幼稚園の子育て支援活動が適切に実施されているか

#### 項目：1

- ・ 絵本作りは家庭ではなかなか経験できない事だと思いました。保護者の方々も一緒に笑顔で遊戯を楽しんでいて素晴らしい時間でした。
- ・ 子育て支援「なかよし学級」では、親子で気軽に楽しめる活動やお子さんの発達に合わせた遊びが用意されている。
- ・ リサイクルコーナーなど育児を楽しんでいる保護者の方だけでなく、悩んでいる方へ参考になるコーナーもあり、不安を抱えた保護者の方は安心して参加したり、相談ができる環境だと感じました。
- ・ 地域の子育て支援の拠点として、様々な活動や遊びが用意されていました。参加の保護者やお子さんの表情や雰囲気から、楽しみながら過ごしていることが伝わってきました。
- ・ 保育者が笑顔で気さくに対応していて、参加している方も遊びの中に入りやすそうでした。
- ・ 遊ぶ場所を求めている家庭や、子育ての仕方が分からない家庭に対して、子育ての悩みを聞いたり、子育ての楽しさを伝える場を作っていると思いました。園長先生を始め、教頭先生、職員の先生など皆で地域の方を受け入れ、幼稚園としてできることを行っていました。
- ・ リサイクルの衣服を用意し、自由に見たり、選べるよう用意されていた。
- ・ 参加してくれる保護者や対象年齢のことを的確に踏まえ、活動や支援の仕方を工夫している。参加する子どもだけでなく、保護者も楽しむことができる内容を考え、実施されている。

## 子育て支援

### 幼稚園としての相談機能を充分果たすことができているか

#### 項目：2

- ・ 絵本作り以外の場面でも先生方が保護者の方々と沢山コミュニケーションを取られていました。育児に関する悩みなども相談でき保護者の方々の育児の不安解消に繋がったり、子どもと笑顔で絵本作りを楽しみながらストレス発散が出来ていると感じました。
- ・ 先生方が各家庭の心に優しく寄り添いながら話す姿が見られる。
- ・ 日々の育児の悩み相談や困っていることを聞いてもらう場だと思っていましたが、何をして遊べるのだろうと楽しみに来ている保護者の方が多く、設定された遊びが事前にわかるということも保護者の方にとっては参加しやすいのではないかと感じました。
- ・ 保護者の様子を細やかにキャッチし、子育ての悩みだけではなく、些細な会話から保護者の思いを受け止めていました。安心して相談できると思います。
- ・ 参加された方の話をしっかりと聞き返答していました。帰りの際も一人ひとりの親子に笑顔で気さくに対応されていて、相手も「また来たいな」と感じられると思いました。
- ・ 園長先生や教頭先生、職員の先生が地域の方に寄り添い、保護者のお話を聞き、保護者の方の思いを汲み取って関わる姿が見られました。数名のグループの方と和やかにお話をしている姿が印象に残っています。
- ・ 参加をしながら、教職員と話をしていた。
- ・ 参加される保護者の方々と笑顔でコミュニケーションがとれている様子から、日頃から悩みや困ったこと、子どもの成長の嬉しかったことなどを聞きながら、共感している様子が伝わる雰囲気だった。

## 共通

### 項目：1

## 遊びを通した総合的な指導が適切に行われているか

- ・ 指先を使った遊びや身体を動かす遊びを組み合わせたり、絵本の世界観を楽しんだり遊びの中に多くの要素が入っていました。その中で一人ひとりが楽しみ達成感を味わえるような言葉掛けや援助をされていました。
- ・ 年長児の体操教室など運動遊びが1年を通して継続されており、体を十分に動かして遊ぶ経験ができています。
- ・ 活動のテーマ「金魚」の手遊び、製作、遊戯とすべてが繋がっており、展開して楽しめるのはどの年齢の子ども達も親しみやすいと思いました。参考にさせていただきます。
- ・ 子育て支援の活動では、『金魚』というひとつのテーマから手遊び、絵本の読み聞かせ、製作、遊戯と展開されていました。低年齢児対象であっても、総合活動としての経験が組み込まれていました。
- ・ お母さんが疲れず、子どもと一緒に楽しめるか活動を考えられ、参加する側の気持ちを配慮されていると感じました。
- ・ 幼稚園の機能を生かして、絵本をたくさん用意したり、手作り絵本を作るなど工夫した活動を行っていました。絵本を読み聞かせるときの保育者の表現力が豊かで、大勢の親子が集中して楽しんで見っていました。製作、遊戯など遊びの流れも良かったです。
- ・ 絵本が豊富に用意されていたり、どの年齢でもすぐに遊べ、親子でやりとりをしながら楽しめるよう工夫されていた。
- ・ 教育的な内容を活動の中だけでなく、日頃の遊びの中で自発的に遊べる環境が整えられている。子ども達が自分で遊びを選び、自然と学んでいくことができる環境が整えられている。活動の中でも楽しく遊びながら繋がりのある内容、関わりが出来ている。

## 共通

### 項目：2

## 一人ひとりの発達の特性に合った活動が行われているか

- ・ 遊びや食事の場面で先生方が子ども達一人ひとりをよく理解されていると感じました。個別の言葉掛けや援助を自然にさりげなくされていたのでみんなが笑顔で活動を楽しんでいたのだと思います。
- ・ 子ども一人ひとりの気持ちに寄り添うことで、お子さんが安心して過ごしている。
- ・ 色々な年齢の子ども達が参加する中、保護者の方の要望に応えていくことの難しさがある中、参加していた皆さんが楽しめる活動だったと思います。
- ・ 『なかよし学級』に参加しているお子さんの発達や保護者の様子、要望を細やかにキャッチして行われた活動（絵本の製作）だったと思います。
- ・ 絵本を見る環境を作ることで、どの年齢にも興味を持ってもらえる機会ができることの大切さを感じました。
- ・ 絵本を読み聞かせをすることによりお話を理解して、その内容に合わせて親子で製作活動や遊戯ができていました。誰でも理解しやすい内容と親子と一緒にシールを貼る活動がとても良かったです。
- ・ 低年齢の子どもに対応した遊びの確保（玩具やスペース）ができると、幅広い年齢のお子さんが遊びに参加しやすくなると感じました。
- ・ 子どもの性格や発達などを的確に捉え、一人ひとりに合わせた関わり、配慮がされていた。子ども達も安心できる環境の中で自己を最大限に発揮し、意欲的に過ごすことができていた。

## 自由記述

「あるがままのこどもの姿を大事にすること」という考え方を多くの場面で感じ取る事が出来ました。先生方が子ども達はもちろん、保護者の方々の事も温かく包み込まれていて園全体に安心感がありました。子ども達の制作物や絵を見ていると、どれも楽しみながら取り組んだのだろうと感じ、見ていて私自身も心が踊りました。先生方の発想力の豊かさがとても勉強になりました。公開保育で学んだ事を今後の保育に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

子どもが遊びを通して考えたり協力したりして喜びを分かち合うといった成功体験がたくさんできていると感じました。遊びが学びにつながる環境が良いと思いました。また、子育て支援のなかよし学級には小さなお子さんも参加されていて、いろいろな遊びを提供しながらも親子で楽しめるプログラムを計画されていたので親子や保護者同士の交流の場として次回も楽しみです。

今回同じ年長児の担任として活動を見せいただき、道具を使った活動を取り入れることで待つ時間ができてしまうことや、安全面への配慮など悩むことが多かったのでひとつの活動で終わりにせず展開させて楽しんでいくことの楽しさを感じられる活動を考えていきたいと思いました。巧技台は園にはありませんが、違った素材でも子ども達が伸び伸びと楽しめる、また全員が楽しんで参加できる運動遊びをしたいと思います。幼稚園の先生方の子ども達に対する関わりや、あたたかい言葉かけはとても勉強になりました。今回は貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

自分自身が子育て支援事業に携わる者として、大変参考になりました。園全体に『なかよし学級』にこられる方々を温かく迎える雰囲気があり、子ども、保護者の思いを細やかにキャッチして活動に取り入れていました。これらはとても大切なことで地域の子育て支援の拠点として必要不可欠なことだと改めて感じました。なかよし学級は、『子どもは子どもの中で育つ』ことの意味を保護者が感じる時間になっていると思います。今後の自分自身の子育て支援事業に活かしていきたいと思います。今回は貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

幼稚園は思っていたより一日が長かったと感じました。その中で、準備などが大変ではないかと感じました。一つひとつの保育に対して「子どもに〇〇してあげたい」「お母さんも楽しんでもらいたい」など先生方の思いが感じられ、私もこのような思いを大切にしていきたいと改めて感じました。そして、園全体の家族的な温かな雰囲気が、子ども達にとって心地よい環境と感じました。安心できる場でのびのびを身体を動かし、遊びの中で学べることがたくさんあると感じました。また、成長で大切な食事の時間は、温かい自家製給食を食べ心まで温かになりました。今日はいろいろな発見や気づきができ、勉強になりました。ありがとうございました。

園全体がとても落ち着いた雰囲気、その中で先生方が子どもに丁寧に関わっており、温かい保育がされていました。各年齢に合った保育や園全体で子育て支援に取り組む姿がみられました。園長先生を始め、教頭先生、職員の方が明るく子ども達や地域の方に関わり、職員の先生方のチームワークの良さも感じられました。

仏教的人間観を基礎に、教育と養護が一体となり、子どもがいろいろな体験を通して成長できるように保育がされていました。今回、保育園側から参加させていただきましたが、子どもを温かく保育する基本は同じで、安心すると共に良いところは真似して取り入れていきたいと思いました。良い保育を見させていただきありがとうございました。

教職員全ての方が明るい雰囲気、子ども達ものびのびと過ごしている様子が伝わり、よい関係が築けている。

子ども達の遊びや学びのために工夫と努力を惜しまずに取り組んでいること、学ぶことが沢山ありました。

公開保育に参加させていただき、ありがとうございました。環境面では日頃から今ある環境をいかに大切にしながら、子ども達の生活をより良くしていこうかと考え、工夫していることが園舎を見させていただき感じる事が出来ました。また、子ども達の製作では季節感を大切にしながらのびのびと自分の表現したいものを表現し、受け止めて貰っている豊かな関係性がわかりました。日頃から丁寧に優しく言葉を掛けたり、一緒に活動を思い切り楽しんだりというメリハリを持って過ごしていることで日々の充実度がわかる公開保育でした。また、子育て支援では少子化が進む中、子ども達だけでなく、来園される保護者にも目を向け、一緒に楽しめる活動を取り入れていくことで、親子の楽しい時間を作り、子育ての楽しさを伝えていくという役割を大きく担っていることを実感しました。「保育園と幼稚園は似ているようで似ていない、似ていないようで似ている」というお話を聞き、公開保育を見させていただき、自分自身の保育を振り返ることと同時にこれからの自分達の役割はなにか、どのようなことが必要なのか改めて考え、学ぶことができた貴重な時間でした。本当にありがとうございました。